

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ブータン王国
2. 案件名	チャナチェン村をモデルケースとした低投入オーガニック栽培の技術向上と安定販売
3. 事業の背景と必要性	本事業の対象地域であるチュカ県チャナチェン村は、政府によるオーガニック栽培のモデル地域に選定されているが、農家の平均月収は 15,000Nu であり、全国平均の 26,355Nu に比べるとかなり低い。農業による収入を十分に得られていない要因としては、農家のオーガニック栽培技術が不十分であることや、農作物の収量が低いこと、市場へのアクセスが限定的であることなどが挙げられる。加えて、現状オーガニック農作物は非オーガニック農作物と同等の価格で販売されているため、農家にとってはオーガニック栽培導入のメリットがなく、栽培意欲を持てていない。本事業では、基礎的な栽培技術の指導により収量を増加させ、さらにマーケティング活動により販売価格を向上させることで農家の所得向上を目指す。
4. プロジェクト目標	チャナチェン村の対象農家の所得が 30%以上増える。
5. 対象地域	ブータン王国チュカ県チャナチェン村
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	対象村の小規模農家（22 世帯 75 名）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> チャナチェン村に低投入有機農業技術が移転され、対象作物の収量が向上する。 販売用オーガニック農作物が付加価値を持たせて安定的に販売される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 国立有機農業センターにて指導員を選定する 1-2. 栽培技術専門家が国立有機農業センターの指導員へ指導研修を行う 1-3. 栽培技術専門家の下で国立有機農業センターの指導員が試験農場で試験栽培を行う 1-4. 栽培期間中、モニタリングを行い必要に応じて現地に合う栽培方法を検討する 1-5. 国立有機農業センターの指導員が中心となり栽培技術専門家の監修のもと栽培マニュアルを作成する 1-6. 国立有機農業センターの指導員とチュカ県の指導員が栽培技術専門家とともに、対象農家へ指導研修を行う 1-7. 対象農家が低投入オーガニック栽培を行う 2-1. 現地プロジェクトチームを立ち上げる 2-2. ティンプーでマーケット意識調査を行う 2-3. 現地プロジェクトチームが中心となり意識調査等をもとに様々なマーケティング手法を用い、普及啓発の具体的な内容を決定する（リーフレット、動画、サイトの作成、SNS の活用、チャナチェン村直売所の販売改善などを想定）。

	<p>2-4.協議内容をもとに有機栽培農産物の普及・啓発・販促方法を決定し、その内容を有機栽培農産物の専門業者とも実行する</p> <p>2-5.農作物の販売先を検討する（国内の小売店、食品市場、ホテル等を想定）</p> <p>2-6.現地主導の販売ルートの確立に向けて支援する</p>
8. 実施期間	2024年12月～2027年12月（3年0ヶ月）
9. 事業費概算額	9,720千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	農業・畜産省 農業マーケティング・協同組合局
II. 団体の概要	
1. 実施団体	有限会社サン・スマイル
2. 主な活動内容	無肥料自然栽培農産物卸・オーガニックショップ運営